

# きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第2号

令和3年8月  
和歌山県  
長寿社会課

ココがすごい！

## 支え合い事例紹介 上富田町 「たすけあいくちくまのステーション」

上富田町では平成29年4月に有償ボランティアサービス「たすけあいくちくまのステーション」を立ち上げ、令和2年度から上富田町社会福祉協議会が運営しています。今回は生活支援コーディネーターのお二人にお話を伺い、次の日、実際に作業している現場へお邪魔させていただきました！



生活支援コーディネーターの  
前地さん（町社協・左）  
岡本さん（町職員・右）

### 立ち上げた経緯は？

まずは社協に登録しているボランティアの方々に声掛けをすることから始まり、何度もワークショップ等の会議を重ね、平成29年度から立ち上げることとなりました。社協と町で協力しながら運営しています。

### 取り組み内容は？

有償ボランティア団体として、庭等の草引き、庭木の剪定、小屋裏の雑草整理等を行っています。利用者との料金のやりとりは前地さんが行い、ボランティアには後日清算する仕組みになっています。

### 課題は？

利用してくれる地域の偏りをなくし、上富田町全域の人に利用してもらえよう、周知方法など試行錯誤しています。

### 上富田町社会福祉協議会（SC）のきめ細やかなサポート！

前地さんはこのサービスの手続きを一手に担っています。事前の調整として、利用者からの依頼を受け、現場確認に赴き、サービスに係る費用の算出、サービス提供会員との日程調整などを行います。ボランティア作業当日も同行し、利用者サービス提供者との橋渡しを行い、作業のお手伝いをして、最後に費用の徴収・精算を行っています。



町とボランティアの方々との  
ワークショップの様子（H28）

### 心がけていることは？

この取組が「人と人のつながりの役に立てるようにしたい」との思いで取り組まれています。利用者は独居の方も多いため、人との交流になりますし、サービス提供者もボランティア活動を通して生きがいを得られます。そのため、複数回利用がある場合は、会話が弾むようにできるだけ同じ人を派遣するなど工夫をしています。  
実際、今回取材した堀さんのお宅でも、作業後にはみんなで楽しく話をしながら現場の確認などをしていましたよ！

詳しくは次ページ

## アドバイザー派遣事業を活用！

上富田町では、下記について、県が実施している「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を活用しました。

- ・地域で実施しているサロン「まちかどカフェ」をより活性化する方法について
- ・「たすけあいくちくまのステーション」の利用を増やす方法について 等

### アドバイザーからの助言

カフェや有償ボランティアの素晴らしい取組を発表・共有できる場として、フォーラムを開催してみるのはいかがでしょうか。その後、地区別での勉強会を経て、地域のニーズ・シーズ把握のアンケート調査を実施してはどうか。

### 助言を受けて

ニーズとサービスをマッチさせることが重要とわかった。フォーラムの開催やアンケート調査の実施を検討してみる。



## 県からのお知らせ

- 今年度から「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています！是非ご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させてください！  
県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521

# 支え合いの現場にお邪魔してきました！

利用者の堀さんやボランティアのお二人に許可をいただき、ボランティアの現場に同行させていただきました。堀さんは、たすけあいくちくまのステーションに依頼するのは4回目とのことで、この日は庭の草刈りと植木の剪定を依頼しました。今回のボランティアは2名、松井さんと曾根さんです。みなさんにお話をお伺いしました。



## ボランティア：松井さん

松井さんは、平成29年の立ち上げ当初からサービス提供者として登録して活動されています。慣れた手つきで草刈り機で草を刈り、脚立や屋根に登った剪定も楽々とこなしていました！草刈りや剪定の知識・技術は、このボランティア活動で依頼が多いため勉強したとのこと。ボランティアを通して嬉しかったことは、自身が剪定をしたことで木が実をつけるようになり、利用者が喜んでくれること、とのこと。



## ボランティア：曾根さん

曾根さんは昨年サービス提供者として登録し、今回が初めてのボランティア活動でした。サービス提供者として登録した動機は、家に居てもすることがなく、体を動かさなアカン、外へ出なアカン、と思ったため。ボランティア活動をすることで人の役に立てるし、生きがいがあった。体を動かすことができるので健康維持にもつながる。今後も自分のため、人のために続けていきたい。とおっしゃっていました。熊手を使った草集めやイチジクの選定など、颯爽と作業されていました！



## 利用者：堀さん

ご家族が高齢になり庭の手入れができなくなったため、以前から「たすけあいくちくまのステーション」に依頼しています。みなさんととても親切にしてくれて助かっています。とのこと。選定をお願いするようになり、庭のイチジクとブルーベリーが実をつけるようになりました。



## SC：前地さん

SCの前地さんもボランティア活動に同行します。作業も「自分にできる範囲」でお手伝いしています。この日も刈った草を集めてゴミ袋に詰めました。やりがいは、ボランティア活動が好評なこと、利用者さんに喜んでもらえること！



## みんなで楽しく現場確認。素敵な時間でした。

朝9時から作業をはじめ、約1時間でごみ袋8袋分の作業を行いました！使用する道具はボランティアご自身の使い慣れたものを使うのが基本ですが、脚立などは利用者さんのものをお借りすることもあります。

作業が終わったら利用者さんに現場を確認をしていただきます。今回は、雑草がなくなった庭や、綺麗に選定されたモミジやイチジクなどをみんなで楽しく話をしながら順番に確認していただきました。確認後、なんと堀さんから「いつもありがとう」と甘くて美味しいイチジクやブルーベリーをいただきながら楽しくお話をさせていただきました。

ボランティア活動を通じた人とのつながりを実感できた素敵な時間をいただきました。

